

アドバンスソフト株式会社の研究開発センター

小池 秀耀*

Research and Development Center, AdvanceSoft Corporation

Hideaki Koike*

アドバンスソフト株式会社は科学技術用産業用シミュレーションソフトウェアの開発、そのための技術開発・研究を行っている。このために、優れた研究者、技術者を招聘し、研究開発センターを設置している。これらの研究開発センターについて紹介する。今後、研究開発センターを強化拡大し、わが国の科学技術用産業用シミュレーションソフトウェアの開発を担っていく計画である。

Key word: コンピュータシミュレーション、防災、確率論的安全評価、ナノシミュレーション

最初の実用的コンピュータ ENIAC が誕生して約 70 年であるが、この間コンピュータは人間社会を一新させる革命をもたらした。この意味でコンピュータは人類の最大の発明の一つであることは疑いない。産業界、自然科学においてもコンピュータを用いて物理化学法則に基づきさまざまな現象を解明するシミュレーション技術は産業を支える基盤技術として空気のような重要な存在である。人類のあらゆる知見がシミュレーションソフトウェア、データベースとしてコンピュータの中に蓄積され、研究開発、産業技術の発展を急速に加速している。新幹線、ロケット、航空機、超高層ビル等々、あらゆるものがシミュレーションなくして成り立たない時代になっている。

このように重要なコンピュータシミュレーションは、コンピュータのハードウェア・システムと応用ソフトウェアから成り立っているが、近年、応用ソフトウェアの重要性が飛躍的に増大している。産業のイノベーションや科学技術の発展を支える原動力は優れた応用ソフトウェアであるといっても過言ではない。

産業を支えるような実用的応用ソフトウェアは莫大な知識と技術の集大成であり、その開発に

は多大な時間と大量の優れた技術者の投入が必要である。全世界の科学技術用ソフトウェアおよびその開発者の数は星の数ほどあるが、現在産業界で使用されている実用的ソフトウェアは 100 に満たない。これを見ても、いかに実用的ソフトウェアの開発が困難であるかが理解できるであろう。しかも科学技術、産業発展のために実用的ソフトウェアの重要性は増大する一方である。

わが国は実用的応用ソフトウェアの開発において、欧米に大きく後れをとっており、しかもその差は広がる一方である。このことはわが国の科学技術、産業の将来に大きな懸念を投げかけている。

アドバンスソフト株式会社はこのような現状を打破することを目指している。アドバンスソフト株式会社は先端的シミュレーションソフトウェアの開発のために優れた研究者、技術者を招聘し、研究開発センターを設置している。

*アドバンスソフト株式会社 代表取締役会長

Representative director and chairman , AdvanceSoft Corporation